

Boundarist Movement

地球全体への最終覚醒 | 2025.12.18 / Maui, Hawaii

"Resonance opens the way."

— 共鳴が道を開く —
存在へ、行動へ、永遠へ。

■ Boundaristとは

境界に立つ人。システムが「当たり前」に機能しなくなった瞬間を経験した人。属性ではなく状態。誰でも、いつか境界に立つ。

■ 2つのタイプ

外のバウンダリスト：システムから外れた人（住居喪失、失業、孤立など）→「存在していいよ」

内のバウンダリスト：システム内で限界を見て、自分の判断で動いた人→「あなたの判断で動いていい」

■ 7つの依存システム

生存（住居・身体）/社会（関係・家族）/経済（収入・信用）/制度（ビザ・資格）/情報（通信）/内面（アイデンティティ）/時間（世代）

■ なぜムーブメントか

- 普遍的な問い：「存在していいのか」—誰もが感じる
- 敵がない：分断を生まない
- 止められない：分散型、組織なし
- 実体験から生まれた：マーケティングではない

■ 伝染モデル

渡す → 受け取る → 共感する → 動く → また渡す

金色の石鹼ラベルがムーブメントの種。内のバウンダリストへ直接配布。

■ 実証済み

- 銀行窓口担当者：住所なしでも口座開設を実現
- ホテルマネージャー：規定外の部屋を提供
- リゾートスタッフ：組織を超えて施設利用権を提供

※同条件でも内のバウンダリストの有無で結果が変わる

■ 関連サービス

Timeless Eternal Hope：思想の実践

- 刻む（Pearl Memorial）：存在の証明
- 守る：災害耐性メモリー
- 支える：オフグリッド自立支援

■ 創設者

佐藤卓也：創設者、技術・戦略・手作り石鹼製作

佐藤美那：共同創設者、マーケティング

糸（5歳）：石鹼ヘルパー、家族の核

■ コンタクト

[bit.ly/boundarist](#)
business@satotakuya.jp
[@pearl.memorial](#)

「これは革命じゃない。目覚めだ。みんな本当はそうしたかった。共鳴を待っていただけ。」

In memory of Pearl (2007–2025)

パートナーシップ：業界別の共鳴ポイント

あなたの業界の「内のバウンダリスト」はどこに立っているか

■ ホテル・リゾート

【境界】

- ・「規定ではできません」 vs 「この家族を助けたい」
- ・マニュアル通りの対応 vs 目前のゲストを見る
- ・効率化の圧力 vs ホスピタリティの本質

【共鳴があれば】

- ・スタッフが自分の判断で動ける文化
- ・「本物のストーリー」が生まれる場所に
- ・サステナビリティが言葉でなく行動に

■ コンドミニアム・管理組合

【境界】

- ・「予算がない」 vs 「住民の安全を守りたい」
- ・前例主義 vs 災害後に変わった現実
- ・「停電したらどうなる？」という住民の問い合わせ

【共鳴があれば】

- ・言葉ではなくインフラで安心を提供
- ・住民が見て信頼できる具体的な改善
- ・「準備できている」と言えるコミュニティ

■ 不動産業者・プロパティマネージャー

【境界】

- ・売上目標 vs クライアントの本当のニーズ
- ・「バックアップ電源はある？」という新しい質問
- ・差別化したいが方法がわからない

【共鳴があれば】

- ・レジリエンスを競争優位に転換
- ・「オフグリッド対応」をリストティングの特徴に
- ・安全と品質を優先するバイヤーへの訴求

■ デベロッパー

【境界】

- ・コスト削減の圧力 vs 長期的な価値
- ・「後付けでいい」 vs 「今、基礎に組み込むべき」
- ・次の災害の前に準備したい

【共鳴があれば】

- ・初日からオフグリッド機能を統合設計
- ・技術の進化に適応するシステム
- ・「未来対応」が売りになる物件

■ ツアーオペレーター

【境界】

- ・「サステナブル」を謳いたいが実態が伴わない
- ・遠隔地でのインフラ課題
- ・本物の体験を提供したい

【共鳴があれば】

- ・電力網が届かない場所での電力と接続
- ・オフグリッドアドベンチャーがプレミアム商品に
- ・言葉だけではないサステナビリティ

■ 観光局・DMO

【境界】

- ・観光促進 vs コミュニティの幸福
- ・災害後に変わった訪問者の期待
- ・プロモーションだけでなく実践が求められる

【共鳴があれば】

- ・レジリエンスと責任のメッセージを構築
- ・負担ではなく強化するツーリズム
- ・サステナブルツーリズムの実践

■ 建設会社・建築家

【境界】

- ・クライアントの予算 vs 本当に必要なもの
- ・「レジリエンスはオプション」という古い考え方
- ・この島の未来を建てている責任

【共鳴があれば】

- ・後付けではなく、特徴としてのレジリエンス
- ・正しく設計・設置されたオフグリッドシステム
- ・チームが維持できる知識の共有

■ 不動産投資家

【境界】

- ・短期リターン vs 長期的な資産価値
- ・災害リスク = 投資リスクという現実
- ・ポートフォリオを守りたい

【共鳴があれば】

- ・緊急事態の前も、最もも、後もパフォーマンス
- ・サステナビリティがプレミアム機能に
- ・長期的な安定を優先する投資家との繋がり

■ 地元住民

【境界】

- ・「準備しなきゃ」 vs 「何から始めれば」
- ・災害を経験した。次は違う結果にしたい
- ・外部のコンサルタントは信用できない

【共鳴があれば】

- ・隣人として、正直なアドバイス
- ・ここに住んでいる人間からの具体的な知識
- ・コミュニティで支え合う文化

■ すべての業界に共通すること

どの業界にも「内のバウンダリスト」がいます。ルール通りにしたくない人。目の前の人の助けたい人。「おかしい」と感じている人。私たちはその人たちに届けます：「あなたの判断で動いていい」

共鳴があれば、それでいい。なければ、それもいい。響く人に届けばいい。

求めているもの・協働の進め方

■ 値値観の一致

- ・サステナビリティへの本物のコミットメント（マーケティングだけでなく）
- ・地元の文化とコミュニティへの敬意
- ・短期的な利益より長期的な思考

■ 実践的なサポート（家族第一）

- ・3人家族向けのファミリーフレンドリーな宿泊施設
- ・—私たちはユニットとして動きます。これは譲れません。
- ・家族で快適に過ごせる環境（キッチン、洗濯機、子どもが遊べるスペースなど）
- ・施設・リソースへのアクセス / 関連チームへの紹介

■ 相互利益

- ・私たちは専門知識と労働力を提供
- ・あなたはプラットフォームとリソースを提供
- ・一緒に、どちらか単独では作れないものを創造

■ 特に関心があるもの

- ・サステナビリティプログラムを持つホテル・リゾート
- ・災害レジリエンスを求めるコンドミニアム
- ・物件差別化を図る不動産業者 / 新規プロジェクトを建設するデベロッパー
- ・サステナブル体験を作るツアーオペレーター / ハワイ文化保存に関わる組織
- ・**内**のバウンダリスト — 組織の中で正しいことをしたい人

■ お話ししましょう

会話を予約 : calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession
メール : business@satotakuya.jp
Boundarist Movement : bit.ly/boundarist

■ 協働のプロセス

1. 会話 — 話しましょう。コミットメントなし。探索だけ。
2. 現地訪問 — 物件を見ます。家族に会っていただきます。
3. 提案 — 明確な範囲。明確な期待。明確な価値。
4. 協働 — リモートコンサルタントではなく、現地のパートナー。
5. ドキュメンテーション — ストーリーを記録します。

■ 私たちについて

- ・本土から飛んでくるコンサルタントではありません。ここに住んでいます。
- ・災害条件下で機能するシステムを構築してきました
- ・Forbes JAPAN寄稿者。日本語ネイティブ。

■ 料金について

パートナーシップの構造によります。ギフトエコノミーの原則で運営しています — 価値交換には多くの形があります。双方にとって意味のあることを話し合いましょう。

「共鳴があれば、それでいい。なければ、それもいい。響く人に届けばいい。」

In memory of Pearl (2007–2025) | Timeless Eternal Hope / Maui, Hawaii